

美術学科 カリキュラムフロー

CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP	
■専門教育課程を履修し、芸術表現分野において活躍する上で求められる幅広い知識や表現技法の修得ができるよう、初年次教育やアントレプレナーシップ・キャリア教育、リベラルアーツ・データサイエンス教育等の科目を低学年で開講するとともに、情報リテラシー教育を多学年にわたって行う。 ■国内外の多様な背景を持った人々と良好な人間関係を構築できるよう、アクティブラーニングを活用した授業やネイティブによる英語の授業を多学年にわたって開講し、コミュニケーション能力と英語力の醸成を図る。	リベラルアーツ（人文）	人文科学特論 リベラルアーツ（社会） 社会科学特論 健康科学概論 （健康科学概論）	日本国憲法 自然科学特論		→ 1_1 教養的知識	基礎的・汎用的知識と技能	
	イングリッシュコミュニケーションI 基礎日本語I	イングリッシュコミュニケーションII 基礎日本語II 英語留学研修	イングリッシュコミュニケーションIII 基礎日本語III （英語留学研修） TOEIC演習 実践英語	イングリッシュコミュニケーションIV 基礎日本語IV （TOEIC演習） 実践英語 アカデミック英語			→ 1_2 コミュニケーション能力
	情報処理基礎	情報処理特論 データサイエンス入門	データサイエンス特論				→ 1_3 リテラシー
	初年次セミナー		科学方法論入門				→ 1_4 論理力
	基礎演習I						1_5 アカデミックスキル
	アントレプレナーシップ入門	イノベーション論I 企業プロジェクトA	イノベーション論II 企業プロジェクトB	ビジネス概論 学生プロジェクトA インターンシップA	リベラルアーツ演習 学生プロジェクトB インターンシップB 就職セミナー		→ 1_6 未来を切り拓く力
		基礎演習II					
CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP	
■美術表現領域のあらゆる分野で必要とされる知識と表現技法を年次進行とともに積み上げ式に身につけることができるよう、平面及び立体技法、基礎デッサン、デジタル表現、西洋・東洋・日本美術史等に関する科目を多学年にわたって開講する。 ■美術表現のエキスパートとして地域や社会において求められる役割を理解し、地域、社会、美術教育現場のそれぞれに応じた適切な貢献ができるよう、地域や社会との繋がりを意識させる科目や、美術制作の展覧会の機会などの実践を取り上げる科目を多学年にわたって開講し、美術世界でのエキスパートとしての実践力と対応力の涵養を図る。	デザイン概論 基礎デッサンI	美術概論 美術領域論II デザイン領域論II			→ 2_1 造形思考を涵養する美学の知識	専門的知識と技能	
	日本美術史 西洋美術史	東洋美術史			→ 2_2 美術史の知識・理解		
	デザイン領域論I 基礎デッサンII 日本画実習IA 洋画実習IA アート・イラストレーション実習IA デジタルツール演習I 3Dアート実習IA 3Dアートデジタル演習IA	基礎デッサンII 日本画実習IB 洋画実習IB アート・イラストレーション実習IB デジタルツール演習II 3Dアート実習IB 3Dアートデジタル演習IB 立体造形技法実習			→ 2_3 基礎造形力の三要素		
		色彩論演習 日本画実習IIA 洋画実習IIA アート・イラストレーション実習IIA アート・イラストレーションメディア演習I 3Dアート実習IIA 3Dアートデジタル演習IIA	日本画実習IIB 洋画実習IIB アート・イラストレーション実習IIB アート・イラストレーションメディア演習II 3Dアート実習IIB 3Dアートデジタル演習IIB				→ 2_4 専門分野における基礎造形力
	塑造実習						
CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP	
■美術表現における倫理や、表現物の著作権に関する事例を取り上げる科目を、それまでに獲得した美術表現に関する専門知識の深さに比例する形式で段階的に開講する。 ■社会の構造やその変化を的確に捉え、表現者として自己成長しようとする姿勢を身につけられるよう、美術家としての地域や社会との関係性を取り上げる科目を継続的に開講する。	健康スポーツ教育I 健康スポーツ教育II	健康スポーツ実習 （健康スポーツ実習）			→ 3_1 自己管理力	人間性・社会性	
	ビジネスプランニング入門				→ 3_2 協働性		
					→ 3_3 倫理観		
CP	1年次	2年次	3年次	4年次	学修目標	DP	
■総合的・創造的思考力の成長を促すべく、表現技法や画材、素材等に関する問題を自ら発見し、解決案を導き出す経験を、4年次の卒業研究へと接続させる。 ■卒業後、美術のエキスパートとしてあらゆる分野で活躍ができるよう、卒業研究を中心として展覧会や各種公募団体への挑戦などの活動を展開し、自らが生み出した作品を社会に発信する能力の醸成を図る。			日本画実習IIIA 洋画実習IIIA アート・イラストレーション実習IIIA 3Dアート実習IIIA	日本画実習IIIB 洋画実習IIIB アート・イラストレーション実習IIIB 3Dアート実習IIIB	→ 4_1 制作上の課題の発見・解決力	応用力・実践力	
			学外演習		→ 4_2 学外活動の反映力		
			アート・イラストレーション表現探究I 3Dアートデジタル実習IIIA	アート・イラストレーション表現探究II 3Dアートデジタル実習IIIB	→ 4_3 専門領域から派生した造形		
		共通立体実習（彫刻）	特別演習		→ 4_4 異なる領域を横断・相補する知識と技法		

※**太字**は必修科目、**橙太字**は専門基礎の選択必修科目、**赤太字**は日本画コースの必修科目、**青太字**は洋画コースの必修科目、**紫太字**はアート・イラストレーションコースの必修科目、**緑太字**は3Dアートコースの必修科目